



2025年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社サカイホールディングス
コード番号 9446 URL <https://sakai-holdings.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝田 康二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 中野 喜夫

TEL 052-262-4499

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第1四半期の連結業績(2024年10月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第1四半期	3,931	1.5	180	9.5	163	8.6	107	36.8
2024年9月期第1四半期	3,874	8.0	199	6.4	179	5.8	169	25.0

(注) 包括利益 2025年9月期第1四半期 159百万円 (38.0%) 2024年9月期第1四半期 115百万円 (36.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第1四半期	10.98	
2024年9月期第1四半期	16.38	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第1四半期	20,561	4,759	22.8
2024年9月期	21,129	4,736	22.0

(参考) 自己資本 2025年9月期第1四半期 4,679百万円 2024年9月期 4,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期		10.00		14.00	24.00
2025年9月期					
2025年9月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日～2025年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,606	0.4	479	6.7	415	13.7	243	26.5	24.92
通期	15,037	2.9	1,160	17.5	1,030	22.1	664	49.7	68.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期1Q	10,956,500 株	2024年9月期	10,956,500 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年9月期1Q	1,185,416 株	2024年9月期	1,185,408 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年9月期1Q	9,771,087 株	2024年9月期1Q	10,356,333 株
------------	-------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化による設備投資や個人消費が堅調に推移したことや、働き方改革や雇用環境の改善により一定の賃上げ傾向が見受けられるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、エネルギーや原材料価格の高騰による物価上昇など、さまざまなコスト上昇は継続しており、加えて日本銀行によるマイナス金利の解除による家計や企業への影響に当面は注視が必要であり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は3,931百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は180百万円（前年同四半期比9.5%減）、経常利益は163百万円（前年同四半期比8.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は107百万円（前年同四半期比36.8%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①再生可能エネルギー事業

再生可能エネルギー事業につきましては、2050年カーボンニュートラル宣言、エネルギー基本計画等、再生可能エネルギー導入に対する政府の支援姿勢は継続しており、今後も、国内再生可能エネルギー市場は、より一層拡大していく見通しです。当社グループは15ヶ所の太陽光発電所を運営しており、自社エンジニアが発電所の運営管理業務（O&M）を担当することで経費削減を図り、発電所の設置地域を全国各地に分散することで気候リスクの低減を図っています。発電量は出力制御の回数増加及び実施対象地域の拡大によりマイナスの影響を受けていますが、安定的に稼働しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は436百万円（前年同四半期比12.9%減）、営業利益は132百万円（前年同四半期比32.0%減）となりました。

②移動体通信機器販売関連事業

移動体通信機器販売関連事業につきましては、2023年12月に電気通信事業法が改正されたことを受け、端末値引き規制が強化され、大手通信事業者各社は経済圏を活かした顧客の囲い込みを狙いとする施策・料金プランを打ち出し、料金競争から経済圏競争へと変化をしております。また、通信事業者の方針のもと、ソフトバンク・ワイモバイルの店舗統合が進み、店舗数が減少傾向にあります。このような事業環境のなか、当社グループでは各店舗を対面サービスを通じた地域のDXを支える拠点と位置づけ、お客様満足度向上に向けた人材育成に注力するとともに、お客様の意向に合わせた料金プランの案内、スマートフォンの販売のほか、光回線、キャッシュレス決済促進など経済圏を活かしたライフスタイルのコンサルティングを行っています。併せてアドレス等のデータ移行や保護フィルムの貼付等をサブスクリプション型の有償サポートで行うなど、多様なサービスを提供しています。また、外販専門部門を増員・強化し、商業施設等において積極的な営業展開をすることで、回線獲得に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における移動体通信機器の販売台数は、新規・機種変更を合わせ16,861台（前年同四半期比3.7%減）となり、上記施策により売上高は2,910百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は116百万円（前年同四半期比20.2%増）となりました。

③保険代理店事業

保険代理店事業につきましては、生命保険における高額な死亡保険のニーズが低下する一方、医療保険などの第三分野商品の加入件数が堅調に推移し、現在の主力販売商品になっています。また、稼働人員は前年同四半期比で減少しているものの、新規顧客の開拓や教育体制の整備に注力した結果、売上高は順調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は121百万円（前年同四半期比9.5%増）、営業損失は22百万円（前年同四半期は32百万円の営業損失）となりました。

④葬祭事業

葬祭事業につきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されていますが、少子高齢化、世帯人数の減少、ネット系葬儀サービスの台頭、家族葬の増加による葬祭規模の縮小等、葬儀や供養のあり方自体が変化しています。近時では多数のご参列をいただく一般葬の需要は回復傾向にあるものの、家族葬の浸透・定着による小規模葬の拡大により、今後も業界全体として葬祭規模の二極化はさらに進行していくものと捉えています。そのような市場環境のもと、地域密着型で効率的な運営を目的として、現在、愛知県の知多エリア及び西三河エリアで8会館を運営し、近隣店舗間の高い連携効率を実現しています。また専門知識と経験豊富な葬祭ディレクターによるお客様本位の対応、お客様のご要望に合わせたきめ細かな料金プラン設定により、葬儀案件受注及び葬儀施行単価の維持・向上に努めてまいりました。また、より効率的な業務運営を目的として委託業務の内製化を一層推進してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は260百万円（前年同四半期比8.5%減）、営業利益は49百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

⑤不動産賃貸・管理事業

不動産賃貸・管理事業につきましては、名古屋市千種区に大型立体駐車場「エスケイアイパーク法王町」を運営、安定した賃料収入を計上しておりますが、前連結会計年度において新紙幣読取り対応の精算機を購入したことで減価償却費が増加し、営業利益を押し下げる要因になっています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は17百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は4百万円（前年同四半期比12.4%減）となりました。

⑥ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業につきましては、DXの需要の高まりを背景に、携帯電話と光回線サービスを中心に法人のお客様の業務効率化、コスト削減に関するコンサルティング営業を展開しています。また、2024年1月より開始した有償のアフターフォローサービス「SK I モバイルサポート」も順調に獲得数を伸ばしており、2024年10月末には加入社数が500社を突破しました。さらに、当四半期から「ソフトバンクでんき」の取り扱いを始めるなど、新たな商材の取り扱いを拡大しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は185百万円（前年同四半期比38.5%増）、営業利益は12百万円（前年同四半期比116.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は20,561百万円となり、前連結会計年度末の資産合計21,129百万円と比べ567百万円減少しました。これは主に、商品が141百万円増加した一方で、現金及び預金が427百万円、売掛金及び契約資産が135百万円、有形固定資産が200百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は15,802百万円となり、前連結会計年度末の負債合計16,392百万円と比べ590百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が185百万円、長期借入金が349百万円減少したことなどによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は4,759百万円となり、前連結会計年度末の純資産合計4,736百万円と比べ23百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が29百万円減少した一方で、その他の包括利益累計額が60百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2024年11月14日に発表しました「2024年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。

なお、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,797,866	2,369,899
売掛金及び契約資産	1,688,139	1,552,712
商品	673,716	815,610
その他	304,612	312,657
貸倒引当金	△8,887	△8,737
流動資産合計	5,455,447	5,042,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,646,165	1,607,761
機械装置及び運搬具(純額)	7,370,026	7,183,919
土地	3,708,705	3,722,433
建設仮勘定	529,375	543,017
その他(純額)	41,330	37,590
有形固定資産合計	13,295,602	13,094,722
無形固定資産		
のれん	908,451	890,021
その他	342,497	333,268
無形固定資産合計	1,250,949	1,223,290
投資その他の資産	1,127,033	1,201,809
固定資産合計	15,673,585	15,519,822
資産合計	21,129,032	20,561,963
負債の部		
流動負債		
買掛金	909,548	938,759
短期借入金	3,220,000	3,220,000
1年内償還予定の社債	45,000	45,000
1年内返済予定の長期借入金	1,405,070	1,365,972
未払法人税等	261,165	75,904
返金負債	112,724	99,919
賞与引当金	128,408	63,924
その他	761,180	764,562
流動負債合計	6,843,098	6,574,042
固定負債		
長期借入金	9,028,699	8,679,063
退職給付に係る負債	181,277	185,670
資産除去債務	297,607	298,108
繰延税金負債	—	23,145
その他	42,203	41,992
固定負債合計	9,549,787	9,227,979
負債合計	16,392,885	15,802,022

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	747,419	747,419
資本剰余金	684,918	684,918
利益剰余金	4,086,897	4,057,364
自己株式	△1,048,233	△1,048,237
株主資本合計	4,471,001	4,441,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,528	194,949
繰延ヘッジ損益	24,827	43,585
退職給付に係る調整累計額	△1,004	△954
その他の包括利益累計額合計	177,351	237,580
新株予約権	22,304	23,273
非支配株主持分	65,489	57,622
純資産合計	4,736,146	4,759,940
負債純資産合計	21,129,032	20,561,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
売上高	3,874,969	3,931,237
売上原価	2,532,211	2,665,740
売上総利益	1,342,757	1,265,496
販売費及び一般管理費	1,143,602	1,085,326
営業利益	199,155	180,169
営業外収益		
受取利息及び配当金	17,483	5,619
物品売却益	401	10,813
その他	6,223	11,643
営業外収益合計	24,108	28,076
営業外費用		
支払利息	34,608	36,126
融資手数料	8,935	8,073
その他	363	110
営業外費用合計	43,906	44,309
経常利益	179,356	163,936
特別利益		
固定資産売却益	8,736	716
投資有価証券売却益	27,370	38
受取保険金	14,939	—
役員退職慰労引当金戻入額	59,310	—
特別利益合計	110,356	754
特別損失		
固定資産除却損	260	93
投資有価証券評価損	741	—
決算訂正関連費用	40,341	—
その他	845	—
特別損失合計	42,188	93
税金等調整前四半期純利益	247,525	164,597
法人税等	89,121	65,203
四半期純利益	158,404	99,394
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,269	△7,867
親会社株主に帰属する四半期純利益	169,673	107,262

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	158,404	99,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,480	41,420
繰延ヘッジ損益	△19,280	18,758
退職給付に係る調整額	—	50
その他の包括利益合計	△42,761	60,229
四半期包括利益	115,642	159,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,911	167,491
非支配株主に係る四半期包括利益	△11,269	△7,867

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	237,859千円	237,886千円
のれんの償却額	18,429	18,429

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器販 売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	501,185	—	—	—	—
端末売上	—	1,506,331	—	—	—
附属品売上	—	416,239	—	—	—
手数料収入	—	904,309	73,689	—	—
支援金収入	—	581	37,032	—	—
葬儀売上	—	—	—	260,816	—
その他	120	—	—	24,227	5,142
顧客との契約から 生じる収益	501,305	2,827,461	110,721	285,044	5,142
その他の収益	—	—	—	—	11,107
外部顧客への売上高	501,305	2,827,461	110,721	285,044	16,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	450
計	501,305	2,827,461	110,721	285,044	16,699
セグメント利益又は 損失(△)	195,112	96,520	△32,046	62,942	5,434

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	計		
売上高				
売電売上	—	501,185	—	501,185
端末売上	91,791	1,598,122	—	1,598,122
附属品売上	59	416,299	—	416,299
手数料収入	41,835	1,019,834	—	1,019,834
支援金収入	500	38,114	—	38,114
葬儀売上	—	260,816	—	260,816
その他	—	29,489	—	29,489
顧客との契約から 生じる収益	134,186	3,863,862	—	3,863,862
その他の収益	—	11,107	—	11,107
外部顧客への売上高	134,186	3,874,969	—	3,874,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	△450	—
計	134,186	3,875,419	△450	3,874,969
セグメント利益又は 損失 (△)	5,565	333,528	△134,372	199,155

(注) 1. セグメント利益の調整額△134,372千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△139,330千円、その他の調整額4,958千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	再生可能 エネルギー事業	移動体通信機器販 売関連事業	保険代理店事業	葬祭事業	不動産賃貸 ・管理事業
売上高					
売電売上	436,347	—	—	—	—
端末売上	—	1,354,646	—	—	—
附属品売上	—	451,237	—	—	—
手数料収入	—	1,104,237	100,829	—	—
支援金収入	—	—	20,425	—	—
葬儀売上	—	—	—	240,634	—
その他	135	—	—	20,274	4,669
顧客との契約から 生じる収益	436,482	2,910,121	121,254	260,909	4,669
その他の収益	—	—	—	—	11,960
外部顧客への売上高	436,482	2,910,121	121,254	260,909	16,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	450
計	436,482	2,910,121	121,254	260,909	17,079
セグメント利益又は 損失(△)	132,596	116,061	△22,944	49,579	4,760

	報告セグメント		調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネスソリューション事業	計		
売上高				
売電売上	—	436,347	—	436,347
端末売上	127,048	1,481,694	—	1,481,694
附属品売上	11	451,248	—	451,248
手数料収入	58,780	1,263,847	—	1,263,847
支援金収入	—	20,425	—	20,425
葬儀売上	—	240,634	—	240,634
その他	—	25,078	—	25,078
顧客との契約から 生じる収益	185,840	3,919,276	—	3,919,276
その他の収益	—	11,960	—	11,960
外部顧客への売上高	185,840	3,931,237	—	3,931,237
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	△450	—
計	185,840	3,931,687	△450	3,931,237
セグメント利益又は 損失 (△)	12,034	292,086	△111,916	180,169

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,916千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△116,782千円、その他の調整額4,865千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。